

## 真空採血管ホルダーの取り扱いについて

平成 20 年 7 月 18 日

社団法人日本感染症学会

社団法人日本化学療法学会

日本環境感染学会

日本臨床微生物学会

真空採血管ホルダーが医療機器となった平成17年4月以降、市場に流通しているホルダーはすべて単回使用（使い捨て）のものになっています。

### 真空採血管ホルダーを複数人に使用した場合の検査の必要性

真空採血管ホルダーによる感染は過去に報告がなく、平成 16 年 2 月に日本環境感染学会、日本感染症学会、国立大学病院検査部会議、日本臨床衛生検査技師会、国立大学病院感染対策協議会の合同による「真空採血管を用いた採血業務に関する安全指針 (Ver 2.05)」で示されている適切な採血方法を実施していた場合には、ホルダーの汚染を介した感染のリスクは極めて低いと考えられるため、検査は不要と考えます。

### ディスポーザブル真空採血管ホルダーの入手が困難な場合

現在、採血ホルダーの入手が困難になっているため、その対策に苦慮している施設が多いと思います。針刺し損傷を防止する観点から、ディスポシリングでの採血は避け、ホルダーの入手が可能となるまでの期間は、ホルダーを適正に消毒した上で再使用して、上記「真空採血管を用いた採血業務に関する安全管理指針 (Ver 2.05)」で示された正しい採血方法を実施して下さい。